

| | | | | | | | |
|-----------|--------------|-----|---------|-----|------|---|------|
| 基礎案での記載箇所 | | 章項目 | 5. 2. 1 | ページ | p.34 | 行 | 37行目 |
| 事業名 | 縦断方向の河川形状の修復 | | 河川名 | | | | |
| 府 県 | | 市町村 | | | 地先 | | |

●現状の課題

縦断方向（山～湖・川～海）にはダム・堰等の河川横断工作物により不連続になっているところがある。

●河川整備の方針

縦断方向において、生物の遡上や降下が可能にできるよう、既設の河川横断工作物の撤去（堰・落差工）や改良方策を検討する。その際、小規模な改築により改良が可能な箇所は早期に実施し、新築や大規模な改築にあたってはその構造を検討する。さらに、許可工作物については、施設管理者に対して指導・助言等を行う。

●位置図



●具体的な整備内容

1)現状の落差工において、縦断方向の連続性が阻害されていることから、新たに魚道の設置を実施する。

①小泉川 落差工

2)縦断的な河川形状の修復に向けて、現状の堰、落差工等において、魚類等の遡上・降下に配慮した構造を検討する。なお、小規模な改築で改良が可能な箇所は早期に実施する。

①淀川 淀川大堰、毛馬水閘門

②桂川 井堰群

③木津川 井堰群

④野洲川 落差工

⑤猪名川 井堰・床固群

3)本川と支川との合流部において、関係機関と連携して、魚類等の遡上・降下に配慮した構造を検討する。

①瀬田川 流入支川合流部

②猪名川 空港川合流部

③猪名川 余野川合流部

4)既設ダムにおいて、魚類等の遡上・降下が可能な方策を検討する。

①瀬田川 瀬田川洗堰

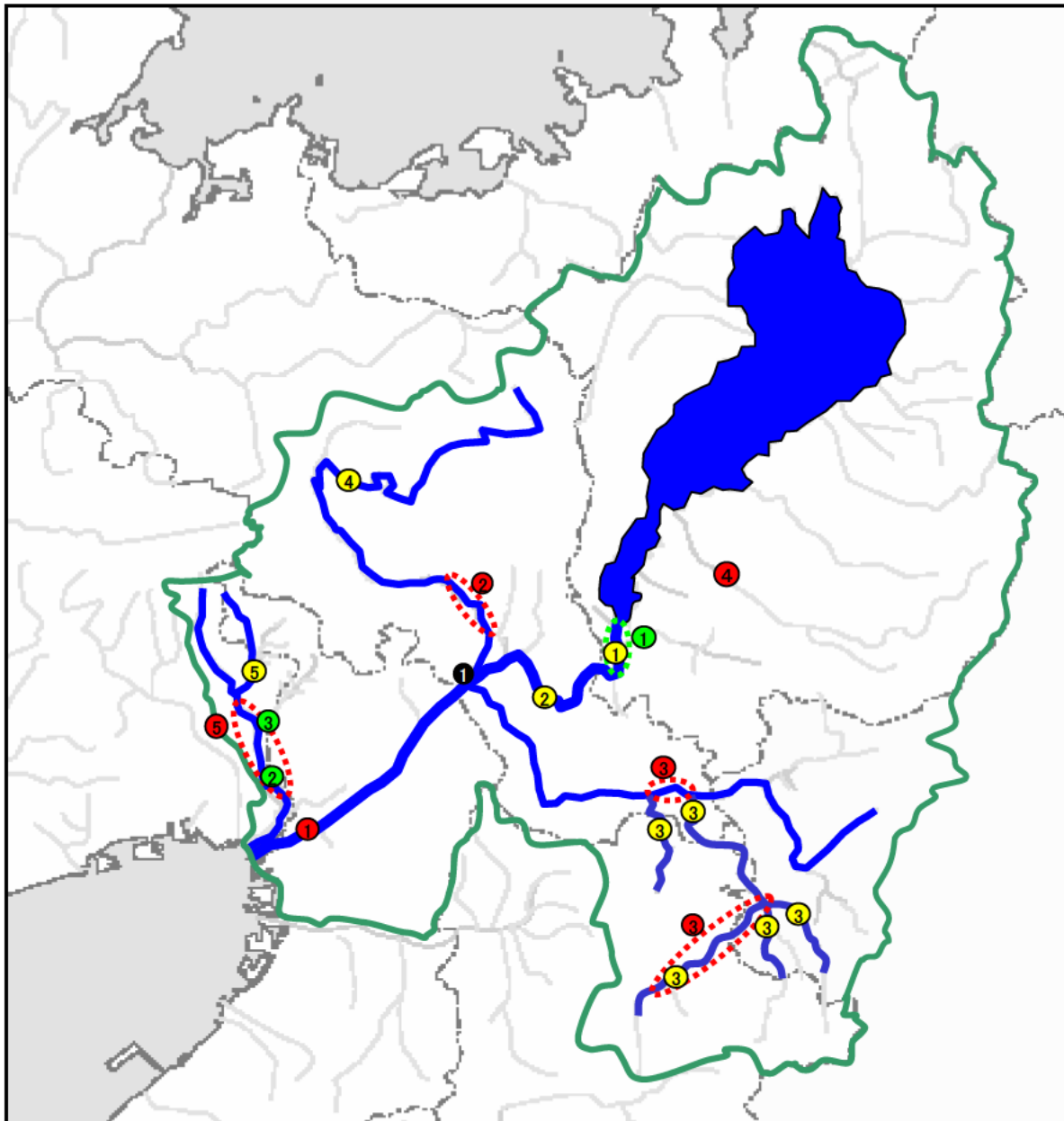
②宇治川 天ヶ瀬ダム

③木津川 上流ダム群

④桂川 日吉ダム

⑤猪名川 一庫ダム

●平面図



凡例

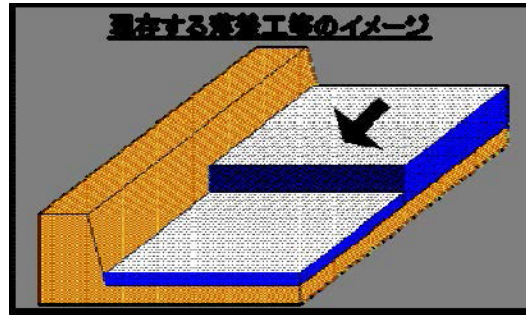
- 現状の落差工において新たに魚道を設置
- 現状の堰・落差工等において魚類等の遡上・降下に配慮した構造を検討
- 本川と支川の合流部において関係機関と連携して魚類等の遡上・降下に配慮した構造を検討
- 既設ダムにおいて、魚類等の遡上・降下が可能の方策を検討

※円内の番号は「具体的な整備内容」欄を参照。

整備効果

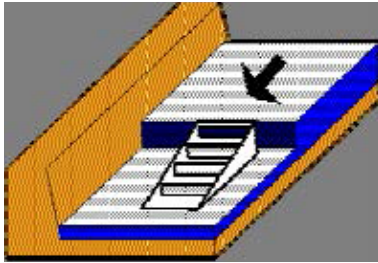
生物の生息・生育空間の改善である横断方向の河川形状の修復とあわせて、既設の河川横断工作物の撤去や魚道の設置・改良など、縦断方向の河川形状を修復することにより、生物の遡上や降下が容易にできるようになり、生物の生活史全体から見た生息環境の改善や生物の遺伝的な多様性が維持されることによる、豊かな河川生態系の回復すると考えている。

落差工改善の例

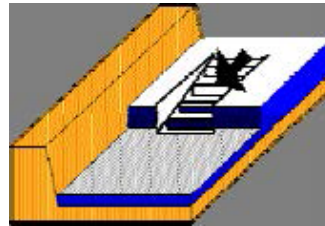


事業実施イメージ

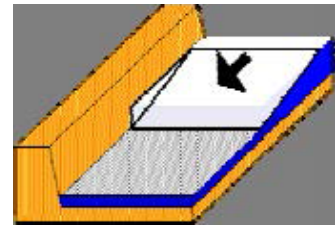
魚道の設置



魚道の設置
(落差工切り欠き)



落差工の撤去等



提案理由(代替案含む)

ダム・堰等、既設の河川横断工作物により河川の縦断方向の連続性が分断され、生物の遡上や降下の障害となっているところがあり、生物の生活史全体から見た生息環境を改善し、あるいは生物の遺伝的な多様性を維持することにより、豊かな河川生態系を回復する必要がある。

